

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場取引所 大

 上場会社名 山田コンサルティンググループ株式会社
 コード番号 4792 URL <http://www.yamada-cg.co.jp>

 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 山田 淳一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷田 和則

TEL 03-6212-2500

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,925	12.8	1,030	13.3	1,020	28.3	569	35.8
24年3月期第3四半期	4,364	18.3	909	50.7	794	53.6	419	84.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 596百万円 (46.5%) 24年3月期第3四半期 406百万円 (114.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11,856.05	11,815.69
24年3月期第3四半期	8,714.67	8,711.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	7,239	5,942	80.2	120,966.16
24年3月期	7,550	5,665	71.5	112,580.62

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,810百万円 24年3月期 5,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1,000.00	—	2,000.00	3,000.00
25年3月期	—	1,500.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	3,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	5.4	1,300	4.3	1,250	7.7	700	18.3	14,577.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	49,740 株	24年3月期	49,740 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,706 株	24年3月期	1,733 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	48,013 株	24年3月期3Q	48,093 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定その他関連事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）の業績は、売上高4,925,724千円（前年同期比12.8%増）、営業利益1,030,274千円（同13.3%増）、経常利益1,020,052千円（同28.3%増）、税金等調整前四半期純利益1,020,052千円（同28.3%増）、四半期純利益569,244千円（同35.8%増）となりました。

各セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

(経営コンサルティング事業)

経営コンサルティング事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,552,591千円（前年同期比20.5%増）、営業利益850,639千円（同19.1%増）となりました。

企業再生コンサルティングを中心としたコンサルティング案件の受注状況が引き続き順調であり、かつ案件の加工作業も計画以上に順調に完了していることから、業績は前年同期比増収増益となりました。

(資本・株式・株主に関するコンサルティング事業)

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高451,543千円（前年同期比12.7%増）、営業利益52,554千円（同137.0%増）となりました。

ファイナンシャルアドバイザー業務、バリュエーション業務、M&A関連業務等の案件受注が前年同期に比べて順調であったことから、業績は前年同期比増収増益となりました。

(不動産コンサルティング事業)

不動産コンサルティング事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高371,459千円（前年同期比12.7%減）、営業利益93,519千円（同37.3%減）となりました。

前年同期に比べて大型コンサルティング案件の受注が少ないことから、業績は前年同期比減収減益となりましたが、計画通りの業績は確保することができました。

(F P 関連事業)

F P 関連事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高368,428千円（前年同期比7.5%減）、営業利益2,659千円（同67.8%減）となりました。

個人マーケットでのF P 講座受講者数の減少、及び確定拠出年金導入企業に対するD C 関連研修の実施回数の減少により、業績は前年同期比減収減益となりました。

(投資ファンド事業)

投資ファンド事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高291,107千円（前年同期比0.2%増）、営業利益29,783千円（同103.6%増）となりました。

事業承継ファンドであるキャピタルソリューション壱号ファンドの投資先1社の株式売却によるキャピタルゲイン実現により、営業利益を確保することができました。

なお、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高109,405千円（経営コンサルティング事業35,612千円、資本・株式・株主に関するコンサルティング事業68,587千円、F P 関連事業5,206千円）が含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第3四半期連結累計期間における営業活動、投資活動、財務活動による各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

(全体キャッシュ・フローの概要)

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が1,020,052千円あったこと、営業投資有価証券の減少額217,096千円、売上債権の減少額34,363千円等の資金増加要因があったものの、法人税等の支払額691,129千円、その他の負債の減少額258,217千円、配当金の支払額157,567千円、少数株主への分配金の支払額155,300千円、社債の償還による支出65,000千円があったこと等から375千円の資金減（前年同期は167,657千円の資金増）となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の資金残高は3,690,081千円になりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、423,490千円（前年同期は1,030,242千円の資金増）となりました。

これは、法人税等の支払額691,129千円、その他の負債の減少額258,217千円があった一方で、税金等調整前四半期純利益が1,020,052千円あったこと、営業投資有価証券の減少額217,096千円（主としてキャピタルソリューション売却による減少）、売上債権の減少額34,363千円、その他の資産の減少額39,686千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、64,268千円（前年同期は493,288千円の資金減）となりました。

これは、投資有価証券の取得による支出50,000千円（余剰資金の運用としての債券投資信託購入）、有形固定資産の取得による支出23,493千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、359,931千円（前年同期は369,265千円の資金減）となりました。

これは、少数株主からの出資受入による収入18,992千円（当社グループ運営ファンドへの当社グループ外出資者からの出資金受入額）があった一方で、配当金の支払額157,567千円、少数株主への分配金の支払額155,300千円（当社グループ運営ファンドの当社グループ外出資者に対するファンド分配金支払額）、社債の償還による支出65,000千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

① セグメント別の状況

(経営コンサルティング事業)

第4四半期も引き続きコンサルティング案件の受注は順調であることから、案件の加工作業を確実に完了させることにより、通期は計画通りの業績を確保することができると見込んでおります。

(資本・株式・株主に関するコンサルティング事業)

第4四半期は大手証券会社等の金融機関との営業ネットワークからの受注案件が順調に推移するものと見込んでおり、通期は計画数値の達成を目指してまいります。

(不動産コンサルティング事業)

第4四半期も仕込案件が少ない等不安定な状況にありますが、不動産市況とニーズの変化に柔軟に対応した幅広いコンサルティング業務を地道に行うことにより、通期は計画数値の達成を目指してまいります。

(FP関連事業)

第4四半期はオーダーメイド型企業実務研修の実施及び資格取得講座幹先企業の深掘りにより、通期での利益確保を目指してまいります。

(投資ファンド事業)

(a) キャピタルパートナー・二号ファンド

残存投資先2社の企業価値向上支援活動に引き続き注力するとともに、ファンド存続期限である平成25年3月までのイグジットを目指しています。なお、ファンドの存続期間は、ファンド契約上、ファンド存続期限である平成25年3月から2年間の延長が可能となっております。

(b) 事業承継ファンドのキャピタルソリューションファンド

老号ファンドにつきましては、残存投資先株式のイグジットを目指してまいります。

式号ファンドにつきましては事業承継問題を抱えている優良な中堅・中小企業をターゲットにし、投資リスクを最小限に抑えながら慎重に投資案件を発掘してまいります。

② 平成25年3月期の連結業績予想

各コンサルティング事業において、それぞれ当初業績予想数値を達成できる見込みとなりました。そのため、当初業績予想数値には盛り込んでいなかった投資ファンド事業（事業承継ファンド）での投資先株式の売却に伴う売上高及びキャピタルゲインを主とした額について、売上高及び利益が当初業績予想数値を上回る見込みとなりました。

以上から、平成25年3月期通期連結業績予想数値を売上高6,450百万円、営業利益1,300百万円、経常利益1,250百万円、当期純利益700百万円に上方修正いたしました。

平成25年3月期 通期連結業績予想数値

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期(平成25年1月29日修正)	6,450	1,300	1,250	700

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,690,457	3,690,081
受取手形及び売掛金	500,574	466,211
営業投資有価証券	441,325	224,229
商品及び製品	18,759	24,733
原材料及び貯蔵品	732	582
繰延税金資産	80,390	57,559
その他	277,598	215,103
貸倒引当金	△50,218	△51,050
流動資産合計	4,959,618	4,627,450
固定資産		
有形固定資産	209,422	206,016
無形固定資産		
のれん	10,299	3,862
その他	8,929	15,070
無形固定資産合計	19,229	18,932
投資その他の資産		
投資有価証券	1,665,787	1,708,912
敷金及び保証金	295,723	284,001
繰延税金資産	192,865	182,028
その他	225,246	226,570
貸倒引当金	△21,053	△17,044
投資その他の資産合計	2,358,570	2,384,470
固定資産合計	2,587,222	2,609,419
繰延資産	3,824	2,880
資産合計	7,550,665	7,239,750
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,357	50,008
短期借入金	250,000	250,000
1年内償還予定の社債	130,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	186,000	186,000
未払法人税等	476,266	179,544
賞与引当金	79,662	89,285
その他	563,158	326,549
流動負債合計	1,730,444	1,201,387
固定負債		
社債	130,000	75,000
その他	24,574	21,065
固定負債合計	154,574	96,065
負債合計	1,885,019	1,297,453

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,599,538	1,599,538
資本剰余金	1,518,533	1,518,533
利益剰余金	2,525,246	2,924,784
自己株式	△238,260	△234,548
株主資本合計	5,405,056	5,808,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△398	2,240
為替換算調整勘定	—	△58
その他の包括利益累計額合計	△398	2,181
新株予約権	10,992	12,286
少数株主持分	249,996	119,520
純資産合計	5,665,646	5,942,296
負債純資産合計	7,550,665	7,239,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	4,364,297	4,925,724
売上原価	625,998	641,774
返品調整引当金戻入額	223	—
売上総利益	3,738,522	4,283,949
販売費及び一般管理費	2,829,451	3,253,674
営業利益	909,071	1,030,274
営業外収益		
受取利息	11,481	18,986
受取配当金	2,352	2,338
為替差益	—	25,102
新株予約権戻入益	11,622	—
その他	4,551	5,270
営業外収益合計	30,008	51,698
営業外費用		
支払利息	7,353	6,473
投資事業組合運用損	22,123	2,858
為替差損	34,438	—
持分法による投資損失	64,833	43,222
その他	15,348	9,366
営業外費用合計	144,098	61,920
経常利益	794,981	1,020,052
税金等調整前四半期純利益	794,981	1,020,052
法人税、住民税及び事業税	336,835	394,321
法人税等調整額	49,546	32,119
法人税等合計	386,382	426,441
少数株主損益調整前四半期純利益	408,598	593,610
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△10,516	24,366
四半期純利益	419,114	569,244

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	408,598	593,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,795	2,638
為替換算調整勘定	—	△58
その他の包括利益合計	△1,795	2,580
四半期包括利益	406,802	596,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,318	571,824
少数株主に係る四半期包括利益	△10,516	24,366

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	794,981	1,020,052
減価償却費	25,939	27,428
のれん償却額	6,437	6,437
持分法による投資損益(△は益)	64,833	43,222
投資損失引当金の増減額(△は減少)	△291,505	—
新株予約権戻入益	△11,622	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,088	△3,177
賞与引当金の増減額(△は減少)	△73,665	9,622
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△223	—
受取利息及び受取配当金	△13,834	△21,325
支払利息	7,353	6,473
為替差損益(△は益)	34,438	△25,102
投資事業組合運用損益(△は益)	22,123	2,858
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	467,678	217,096
売上債権の増減額(△は増加)	296,284	34,363
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,007	△5,824
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,311	4,651
その他の資産の増減額(△は増加)	△61,001	39,686
その他の負債の増減額(△は減少)	△110,580	△258,217
小計	1,153,408	1,098,246
利息及び配当金の受取額	9,268	22,470
利息の支払額	△6,425	△6,097
法人税等の支払額	△126,009	△691,129
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,030,242	423,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,425	△23,493
無形固定資産の取得による支出	△2,261	△11,164
投資有価証券の取得による支出	△495,987	△50,000
投資有価証券からの分配による収入	7,800	6,413
保険積立金の解約による収入	16,668	—
敷金及び保証金の差入による支出	△4,112	△3,298
敷金及び保証金の回収による収入	—	8,592
貸付金の回収による収入	—	11,380
その他の支出	△2,040	△2,698
その他の収入	71	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△493,288	△64,268

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△115,000	△65,000
少数株主からの出資受入による収入	31,697	18,992
自己株式の取得による支出	△11,894	—
自己株式の処分による収入	—	1,474
配当金の支払額	△135,809	△157,567
少数株主への分配金の支払額	△136,203	△155,300
その他	△2,055	△2,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△369,265	△359,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	167,657	△375
現金及び現金同等物の期首残高	3,001,934	3,690,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,169,592	3,690,081

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	経営コンサル ティング事業	資本・株式・株主 に関するコンサル ティング事業	不動産コンサル ティング事業	F P 関連事業	投資ファンド 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,905,150	351,137	425,357	392,304	290,347	4,364,297
セグメント間の内部売上高又 は振替高	42,551	49,258	224	6,138	—	98,173
計	2,947,702	400,396	425,581	398,443	290,347	4,462,471
セグメント利益	713,685	22,170	149,189	8,280	14,627	907,953

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	907,953
セグメント間取引消去	1,118
四半期連結損益計算書の営業利益	909,071

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な変動はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	経営コンサルティング事業	資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	不動産コンサルティング事業	F P 関連事業	投資ファンド事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,516,978	382,956	371,459	363,222	291,107	4,925,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	35,612	68,587	—	5,206	—	109,405
計	3,552,591	451,543	371,459	368,428	291,107	5,035,129
セグメント利益	850,639	52,554	93,519	2,659	29,783	1,029,156

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,029,156
セグメント間取引消去	1,118
四半期連結損益計算書の営業利益	1,030,274

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な変動はありません。